友愛

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10　電話大塚（941）2801
編集兼発行人　宮田　靖
定　価　1部10円

入会申込は支部または本部までハガキで御連絡下さい
東京都文京区音羽町七の一〇
友愛青年同志会

下半期活動の方針決る

第14回全国幹事会終了

友愛青年同志会第十四回全国幹事会は十月二十日（日）午前十時半より鳩山会長邸別館において開催され、上半期事業を反省するとともに下半期事業の方針を審議、具体的事項を決定して午後五時半閉会した。

この全国幹事会には、全国各地から大会で選任された常任幹事、全国幹事三十六名が出席、昼食会には、旭川支部派遣「友愛中国親善使節団」（団長林勝君）＝別掲＝の歓送会を催し、一行四名の壮行を祝福した。さらにこの幹事会では、議題審議のほかに「地方活動をすすめるために」というテーマで全体討議を行ない、プログラムのつくり方、行事を達成するために必要な技術、組織運営の資金をどうしてつくるか、など各項目別に活発な議論が展開された。

【会長邸別館において白熱の審議をつづける第14回全国幹事会】

会議は清水幸重常任幹事の開会の言葉で開かれ、北川事務局長から会議日程、配布資料の説明があったのち、奥田幹事長が友愛十周年の〃栄光の年〃の上半期事業を反省し、現在の国内外の情勢分析の上に立って今後の躍進を期したい、そのため充分慎重な討議をして今日一日、実り多き一日としたい旨の挨拶があった。

ついで北海道、東北、関東、中部、東海、関西の順に全国各地幹事の挨拶があって、議長に梶本英夫君（岐阜県連会長）を選任、書記に宮崎久男君（関東学生部）を指名して直ちに議事に入った。

北川事務局長から四月以降の上半期における中央・地方行事を項目別、種別に整理して報告、これを中心に特に「地方組織」の充実をめぐって質疑があったが、活動については、さらに午後の全体討議でとりあげることにしてこれを了承。

第二号議題、下半期事業への取りくみについては、①友愛十周年海外派遣（前号既報）②組織拡大月間（別掲）③歳末扶け合い運動④友愛歯科診療班の沖縄派遣⑤働らく青少年野外の集い⑥友愛スキー・スケート教室⑦移動文化映画班の甲信越三県への派遣⑧文化行事の振興充実⑨全国組織縦断リレー⑩衆議院総選挙への対策⑪友愛十年史の刊行⑫第十一回全国大会についての基本的要綱。の各項について審議した。

このうち組織拡大、組織縦断、総選挙、全国大会を別議案で審議したほかはそれぞれ本部原案どおり実施を決定した。歳末助け合い運動は十二月、全国一斉に都道府県連、支部地区単位でそれぞれ独自の方法で具体的に実施される。

歯科診療班は鶴巻、柳沢、大西、北川、尾形の五常任幹事で準備を進め、来春三月に沖縄訪問をする。団長には鶴巻克雄常幹（国際委員長、歯学博士）が予定されている。文化行事は中川治男常任幹事が担当、十一月三日文化の日を中心に文化活動月間を強調、機関紙に文化欄を再開、さらに友愛文化部を今後一層充実させてゆく方針を決めた。

組織拡大月間は、来年三月をその月間とし、この間〃会員倍加〃運動を中核として、都道府県連、支部組織の拡充を含め、普及強化発展の三位一体の効果をねらうこととした。このため、各組織は会員倍加につとめると共に組織の内的強化（事務的、数的、運営技術）質的強化（友愛思想を身につける）動的強化（活動の活発化）の三要素が要求される。総選挙に対しては公明選挙の推進に努めると共にこの機会をとらえて、進んで政治学習の機会とし、各党政策の学習、政党政治の在り方、選挙制度の問題点全般の傾向など主権者としての立場から充分な話し合い形式の学習がのぞまれる。

第十一回全国大会は、会場を磐梯友愛山荘で、内容は地方情況報告を中心に討議に重点をおく、代表者の数をしぼり、旅費補助も半額程度を考慮するという基本方針が多数意見を占めた。

これら討議と併せて午後は記念撮影のあと、川手正一郎常任幹事を座長に全体討議「地方活動のすすめ方」が行なわれた。北川事務局長が作成した同じ題名の印刷物を素材にして約二時間半、極めて活発な論議を呼び、相互に成果のあった方法を披露し合い、或いは智恵をさずけ、或は激励し非常に実のある討議となった。

かくて午後五時半、全員起立し肩を組み合って友愛の歌を合唱、全行事を終えて閉会した。

都政懇談会ひらく

青少年対策、尾形常幹が意見

東京都では都民の意見を都政に反映させ民主的な行政をおこなうため、各界の代表を招き知事をはじめ各部長が出席して「都政懇談会」を開いているが、十月二十四日午後二時より青山の日本青年館で御子柴副知事を囲む懇談会が開かれた。

この懇談会には十二名の代表が出席したが、本会の尾形智矩常任幹事（組織部長）も代表として出席し都の青少年対策に対して意見を述べた。

当日は御子柴副知事をはじめ各部長、課長が出席し、まず御子柴副知事より懇談会の主旨説明を含めて挨拶があった。つづいて十二名の代表よりそれぞれ意見が述べられ、そのつど副知事をはじめ関係各部長より答弁があり午後五時閉会した。

会員の協力が実る

友愛婦人会の五周年記念

友愛婦人会（会長鳩山薫）では五周年を記念して、二ヵ月前から準備を進めていた歳末扶け合い運動のための「友愛バザー」を十月十九日・二十日の両日、文京区大塚窪町の桜蔭会館において、午前十時より午後三時まで会員と一般の方達延三千名を入場させて盛大に開催した。

これは過去四年間に開かれてきた「友愛の集い」のかわりとして五周年記念のために特別に企画されたものである。

内容は会員より衣類・雑貨・日用品・漆器陶器・食器セット等の広い範囲にわたって寄贈を受け市価の半額位の値段で販売し、利益を毎年おこなってきた歳末扶け合い運動のために使うもので、会員の心からの協力が美しく実を結んでいる。

準備には入場券・ポスター・チラシ等数千枚の印刷物を配布して街の商店や掲示板にはり、街中の協力を求めた。

当日は早朝より西木まさ子副会長（本会相談役）のリードで会場整備をおこない、本会からも関東学生部より八名の応援を出して、開場三十分前からつめかけた入場者の受付整理を手伝った。午前十一時頃鳩山会長を迎えた時にはすでに大半を売り尽して、午後からの入場者をがっかりさせた。

盛会に終った友愛バザーは会員の希望にこたえて、来年も第二回目として開催する予定である。

歳末扶け合い運動のための
友愛バザー

国連デー

記念大会ひらく

国際連合（UN）が誕生して満十八年、国連憲章が発効した日を記念しての「国連デー」に当る十月二十四日、東京商工会議所ホールで「国連デー祝賀記念大会」が開かれた。

この催しは日本国際連合協会（佐藤尚武会長）同東京都本部（東竜太郎本部長）が共催し、横田喜三郎最高裁判所長官が「世界平和と法と支配」と題する約二時間の記念講演があった。

国際連合は一九四五年六月二十六日に五十ヵ国の署名で発足、十月二十四日に憲章が発効した。現在の加盟国は一一〇ヵ国、日本は一九五二年、国連の第七回総会で加盟が議決され、今日では国連の分担金は世界第六位となっている

定期大会を延期

世連日青協の委員会で

世界連邦日本青年協議会第三回定期大会準備委員会並びに中央委員会合同会議は、十月二十一日午後六時より参議院会館第二会議室で開かれた。

この会議には本会より早川広中常任幹事（国際部長）、尾形智矩常任幹事（組織部長）が出席した会議は本会の尾形常任幹事を議長に選んで議事に入った。

まず高畑一三事務局長より第十一回世界連邦世界大会における行事報告、会計報告等がなされ、質疑討論ののち満場一致で承認された。つづいて十一月三日に予定されている世界連邦日本青年協議会第三回定期大会の件が議題に供されたが、衆議院総選挙の期間中となる可能性が強いため、またその他の理由もあって十二月二十二日に延期することを決め、その他二三の議題を審議したのち九時閉会した。

海外派遣公募

WAY研究会議

左記のとおり公募しますから希望者は本部国際部まで申請して下さい。

名称　青少年と協同組合運動についてのアジア地域研究会議
主催　国際協同組合会議（ICA）世界青年会議（WAY）
会場　ペタリンジャヤ協組大学（マレーシャ国の首都効外）
期日　昭和三十九年一月十一日から二十二日まで十一日間
参加者　二十五名＝うち日本からは二名の予定
経費　旅費一六万七千円、登録料三千六百円＝＝一名分の旅費はWAYから支給される予定
申込締切　十一月二十日までに必着のこと
備考　研究会議の代表ですから語学に堪能なこと

氏子青協が結成

全国の氏子（うじこ）青年を結集して「全国氏子青年協議会」の結成大会が十月二十六、二十七の二日、東京・明治神宮で開催された。

この協議会は全国の神社を中核としてその氏子青年の結集をはかり、神道の発展向上と会員相互の親睦、地位向上にも寄与しようというもので、神道青年全国協議会（宮沢岩雄会長）と全国氏子青年組織準備委員会（梯祺典委員長）が協力して準備してきたもの。事務所は東京都渋谷区若木町十一

鳩山会長

藍綬褒章を受章

本会会長鳩山薫先生は十一月五日、藍綬褒賞を授賞された。これは「早くから教育に意を注ぎ共立女子学園理事長及び共立女子大学長として常に施設の充実を図って専心子女の育成に努め、教育の振興に寄与しもって公衆の利益を興じた」功績が顕著であるとして褒賞されたもので、十一月五日文部大臣より「褒賞の記」並びに褒章（藍綬・裏面刻名）が伝達された

日本投資

オリンピック

中央前年祭ひらく

十一月二日午後三時半から聖火を迎えて国立競技場で「オリンピック中央前年祭」が開催された。この聖火は〃美しい国土でオリンピックを〃のスローガンのもとにオリンピック聖火コース国土美国民大行進が実施され、沖縄を十月十日に出発して、この十一月二日東京に到着したもの。

祭典は入場パレード、マスゲーム、聖火に誓うの三部になり〃この日のために〃〃国土美の歌〃など会場を埋めつくした「七万人の大合唱」が神宮外苑にこだました。

松下議長ら帰国

松下正寿核禁会議々長を団長にわが国宗教界の各宗、派代表十二名、随員六名からなる核兵器禁止宗教者平和使節団の一行は十月二十四日午後四時五十分羽田着の日航機で無事大任をはたし帰国した

直言

◇下半期活動は地方組織の活発な運動で開幕した感がある。岐阜支部は秋の研修会に本部主催の研修会より立派な要項を作って盛大に開幕、関西学生部も再建後試験シーズンにもかかわらず慰問行事で実践活動をしているし、関東学生部も負けじとばかり、秋の研究会に五十名を動員、つづいてバスハイク、友愛学生バザーを実施・計画している。隅田支部の総会、北海道連の定期大会、熊谷支部の定例集会、箕面支部の施設慰問、登別の清掃奉仕と多彩な秋の行事展開がされている。

◇総選挙で世をあげて興奮しているが、この中にあって地道に本来の友愛活動をすすめている姿は胸をうたれるものがある。これら諸行事に北海道旭川支部の「友愛中国親善使節団」は予期以上の成果をあげて帰国した。テレビ、新聞で大きくとりあげられ十月二十二日付け沖縄タイムズ夕刊は、三段見出しで本会の行事を紹介、使節団一行の写真入りで「友愛歯科診療班」の沖縄派遣を報じている。友愛十周年記念「欧米派遣」「沖縄訪問」は下半期事業の開幕に重きを加えるだろう。ともあれ、地方活動の推進が地についた着実味をみせてきたことは、今後に明るい希望をもたせてくれる。

◇ところで総選挙は今や中盤戦を迎え、全国各地で激戦が展開されている。今次選挙は世上いわれているように、選挙の争点が極めてアイマイであること、立候補者数が戦後最低であること、保守・革新とも派閥争いが目立っていることなどが特色として目につく。つまり、政策で争うというより派閥対派閥の勢力争い、党内での主導権争いといった匂いが濃いのである。その意味からいえば戦後の選挙の中では最も意味のないアイマイな選挙だといえなくもない。

◇しかし、選挙に莫大な金がかかりすぎる、だから立候補者も少なくなった、派閥に属さなければ立候補も出来ない——という実態が今次選挙を通じて大きく反省の材料になれば、その意味も又でてくるだろう。何にしてもこのままではいけないのである。政党も国民も真面目に考える時期がきている

友愛全国組織縦断リレー

友愛十周年記念行事中の華ともいうべき「友愛全国組織縦断リレー」は、いよいよ十一月十五日南北二ヵ所から一齊にスタートすることになった。このリレーは巻物に記名することによって順次各支部を巡歴するが、本会の組織力の評価ともなるもので、関心を呼んでいる。この縦断リレーが組織の充実強化に役立つのみならず、支部、県連相互間の親睦交流に果す役割りも又大きいことが期待される。全国各組織の責任者は充分この意義を認識し、スピーディに心のこもったリレーを果されるよう希望している。

実施要項

一、期日

昭和三十八年十一月十五日より

二、目的

友愛十周年を記念し全国組織をリレーすることによって相互の連絡をはかり友愛運動に寄与する。

三、要領

❶南と北から同時に友愛のマークの入った巻物（布地）をリレーし、各支部では年月日・支部名・激励文（簡単に書くこと）を書いて次の支部におくる。

❷リレーは徒歩・自動車・汽車・船・郵送のいずれにても可。

❸各支部では次の支部にリレーした際にハガキで本部並びに次の支部に連絡する。

❹原則として支部をリレーするが地区をこれにあてる場合もある（全国組織委員会がコース及び巡回の支部・地区を別項のように決定した）

❺リレーが停滞した場合はそのブロックの組織常任委員が責任をもつ。

❻リレーの順序は別項の通りおこなうので次の支部に責任をもってとどけること。

❼各支部は巻物が到着したらすみやかに年月日・名称・激励文を書いて次の支部に送ること。

四、出発点

北回り＝北見支部　北海道北見市大通（北見毎日新聞社内）支部長　田子節次

南回り＝鹿児島支部　鹿児島市平之町一一九　支部長　岩崎真澄

リレーコース

【南回り】—支部名、住所、責任者の順—

(1) 鹿児島支部　鹿児島市平之町一一九番地岩崎真澄方、岩崎真澄
(2) 熊本地区　熊本市黒髪町下立田四七〇中島輝男方、中島輝男
(3) 佐賀地区　佐賀市松原町新天地池田辰一方、池田辰一
(4) 長崎支部　長崎市上戸町三三古館仁義方、古館仁義
(5) 須木地区　宮崎県西諸県郡須木村一二八五、有園三郎
(6) 豊前支部　福岡県豊前市八屋町二二五三、渡辺寛
(7) 背振友愛山荘　福岡市外早良町椎原背振友愛山荘、真武信幸
(8) 福岡支部　福岡市因幡町三一ノ六吉富央方、矢野秀敏
(9) 福岡県支部連合会　福岡市住吉横田町九四〇、矢野秀敏
(10) 遠賀支部　福岡県遠賀郡遠賀村浅木柳井方、柳井博幸
(11) 宇部支部　山口県宇部市東区琴芝通四丁目法興寺内、東田教範
(12) 山口支部　山口市早間田三三矢野テントKK内、竹重睦夫
(13) 山口県支部連合会　山口県宇部市東区琴芝通四丁目法興寺内、熊野英坤
(14) 山口大学支部　山口市芳沢町時雍寮内三枝啓己方、三枝啓己
(15) 阿東支部　山口県阿武郡阿東町篠生、原田康介
(16) 島根大学支部　松江市西川津町一〇六〇島根大学々生寮内升崎巾二方、升崎巾二
(17) 鳥取大学地区　鳥取県岩美郡国府町宮ノ下大田陽雄方、樋口直樹
(18) 広島支部　広島市国泰寺町五四の二市立浅野図書館内、正本良忠
(19) 広島大学支部　広島市国泰寺町八二の二林雄三方、林雄三
(20) 世羅西支部　広島県世羅郡世羅西町小国公民館内、兼外秀夫
(21) 瀬戸田支部　広島県豊田郡瀬戸田町高根植原秀雄方、植原秀雄
(22) 尾道支部　広島県尾道市千光寺公園尾道友愛山荘内、高橋最宜
(23) 広島県支部連合会　広島県尾道市千光寺公園尾道友愛山荘内、高橋最宜
(24) 尾道友愛山荘　広島県尾道市千光寺公園尾道友愛山荘、高橋最宜
(25) 西大寺支部　岡山県西大寺市北幸田、妹尾要方、妹尾要
(26) 児島支部　岡山県児島市鷲羽山ユースホステル内、土井昭道
(27) 高松南支部　高松市旅籠町近藤純一郎方、近藤純一郎
(28) 大川支部　香川県大川郡大川町中央通り藤川利章方、藤川利章
(29) 寒川支部　香川県大川郡寒川町神前、広瀬政則方、中川国雄
(30) 長尾支部　香川県大川郡長尾町昭和三四三九多田明方、多田明
(31) 香川県支部連合会　香川県大川郡長尾町中ノ丁近藤方、十川昭五
(32) 志度支部　香川県大川郡志度町志度一二九三の二藤原方、藤原昌弘
(33) 庵治支部　香川県木田郡庵治村中村哲雄方、中村哲雄
(34) 徳島支部　徳島市通町内町ビル内三木武夫事務所内、佐々木明美
(35) 徳島県支部連合会　徳島市通町内町ビル内三木武夫事務所内、張西五六
(36) 小松島支部　徳島県小松島市坂野町字松安田勝方、安田勝
(37) 阿南支部　徳島県阿南市橘町、角元尊人方、角元尊人
(38) 日和佐支部　徳島県海部郡日和佐町張西五六、張西五六
(39) 砥部支部　愛媛県伊予郡砥部町大南、正岡勇
(40) 松山支部　松山市祇園町松田弘方、松田弘
(41) 愛媛県支部連合会　愛媛県伊予郡砥部町大字大南三谷喜好方、三谷喜好
(42) 宇和島支部　愛媛県宇和島市丸穂、井上延明
(43) 姫路支部　兵庫県姫路市飾磨区加茂水田和雄方、水田和雄
(44) 大阪支部　大阪市東区横堀二の四五磯部安伸方、磯部安伸
(45) 箕面支部　大阪府箕面市百楽町一の七箕面教育委員会社会教育課内、井上都司子
(46) 茨木支部　大阪府茨木市上中条二七八の三井上信雄方、井上信雄
(47) 大阪府支部連合会　大阪府茨木市大字茨木一三五〇山崎勝巳方、山崎勝巳
(48) 和歌山県連準備会　和歌山市小松原県教育委員会社会教育課気付、堅田哲生
(49) 京都地区　京都市伏見区醍醐御陵町一橋村方、橋村芳延
(50) 上野支部　三重県上野市東日南町安永鉄工内、加藤和夫
(51) 津支部　三重県津市雲出本郷町白藤猛志方、白藤猛志
(52) 三重県支部連合会　三重県津市大門町田中ビル内、五十嵐昭男
(53) 亀山支部　三重県亀山市東町加藤隆方、加藤隆
(54) 四日市支部　三重県四日市市幸町伊藤一郎方、伊藤一郎
(55) 阿倉川支部　三重県四日市市阿倉川町笹伊製陶内、早川進
(56) 桑名支部　三重県桑名市東新町山川昇方、中村満寿夫
(57) 大垣地区　岐阜県大垣市本今町三の三六二の一梶本方、梶本英夫
(58) 岐阜支部　岐阜市金竜町三大洞竜明方、鈴木昌和
(59) 岐阜県支部連合会　岐阜市金竜町三大洞竜明方、梶本英夫
(60) 高山支部　岐阜県高山市本町四の五八梅地方、梅地与秋
(61) 多治見支部　岐阜県多治見市本町四渡辺章方、渡辺章
(62) 名古屋地区　名古屋市中村区深川町二の四五大島方、大島和章
(63) 愛知学生会　名古屋市南区豊田本町一の三四稲熊利充方、樋江井克臣
(64) 岡崎支部　愛知県岡崎市祐金町一二五多々内方、多々内基治
(65) 浜松地区　静岡県浜松市塩町八七須部平八郎方、須部平八郎
(66) 三島地区　静岡県三島市二日市二丁目五の二瀬川一男方、瀬川一男
(67) 横浜支部　横浜市西区藤棚町一の八八大久保方、大久保照夫
(68) 本部　文京区音羽町七の十

【北回り】—支部名、住所、責任者の順—

(1) 北見支部　北海道北見市大通北見毎日新聞社内、田子節次
(2) 旭川支部　北海道旭川市五の四林勝方、坪田茂男
(3) 三笠地区　北海道三笠市多賀町二の七竹林顕方、竹林顕
(4) 札幌支部　北海道札幌市南五条西四丁目みなみビル道核禁会議事務局内、兎沢邦彦
(5) 北海道支部連合会　北海道札幌市南五条西四丁目みなみビル道核禁会議事務局内、白井啓介
(6) 小樽支部　北海道小樽市稲穂町駅前北海道通運KK社長室気付、山中現路
(7) 余地支部　北海道余市郡余市町黒川町一の一五興覚寺内、川人昭
(8) 苫小牧支部　北海道苫小牧市大町七二西内義雄方、西内義雄
(9) 登別支部　北海道幌別郡登別町登別温泉、三浦吉治
(10) 室蘭支部　北海道室蘭市海岸町城南会内、若松誠樹
(11) 青森地区　青森市羽白沢田五二六市営住宅八号藤村定明方、藤村定明
(12) 能代地区　秋田県能代市旭町佐藤銑四郎方、佐藤銑四郎
(13) 秋田地区　秋田市楢山南新町下丁二〇古家陸男方、古家陸男
(14) 尾花沢地区　山形県尾花沢市大字富山三一二押切清夫方、押切清夫
(15) 羽黒地区　山形県東田川郡羽黒町中島三浦勇一方、三浦勇一
(16) 盛岡地区　岩手県盛岡市青山四の五の一二木村悌郎方、木村悌郎
(17) 仙台地区　仙台市二十人町一、八一八三塚博方、三塚博
(18) 郡山地区　福島県郡山市虎丸町四〇和田光登方、和田光登
(19) 猪苗代支部　福島県耶麻郡猪苗代町本町清水文夫方、星健夫
(20) 福島県支部連合会　福島県耶麻郡猪苗代町字葉山友愛山荘内、清水文夫
(21) 磐梯友愛山荘　福島県耶麻郡猪苗代町字葉山友愛山荘内、吾妻充
(22) 会津若松支部　福島県会津若松市神明通り白虎写真館内、矢部世司
(23) 湯川支部　福島県河沼郡湯川村字王領鈴木武彦方、鈴木武彦
(24) 会津坂下支部　福島県河沼郡会津坂下町茶屋町蓮沼明方、二瓶重喜
(25) 大沼支部　福島県大沼郡会津高田町永井野真鍋義人方、真鍋義人
(26) 新潟地区　新潟市西堀通三番町二二五六東京商工興信所新潟支所内、岡田統一
(27) 富山地区　富山市総曲輪六〇松原明男方、松原明男
(28) 金沢地区　石川区金沢市上中島町一五七、矢谷重雄
(29) 清水地区　福井県丹生郡清水町大森片岡哲夫方、片岡哲夫
(30) 御代田支部　長野県北佐久郡御代田町栄町服部斉方、服部斉
(31) 軽井沢友愛山荘　長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢友愛山荘、早川忠光
(32) 前橋地区　群馬県前橋市桑町一九江口恭平方、江口恭平
(33) 富士見支部　群馬県勢多郡富士見村横室大友五十吉方、大友五十吉
(34) 桐生支部　群馬県桐生市宮本町一三四〇室伏忠治方、室伏忠治
(35) 宇都宮支部　栃木県宇都宮市宝木町一の六一大和千代子方、大和千代子
(36) 日光支部　栃木県日光市稲荷町二の三三五〇逢田健一方、逢田健一
(37) 水戸地区　茨城県水戸市西原町六区三七三七前田新光方、前田新光
(38) 熊谷支部　埼玉県熊谷市大字熊谷一〇一九根岸寛治方、根岸寛治
(39) 北区支部　東京都北区袋町二の一四七〇八樹方、高山カズエ
(40) 荒川支部　東京都荒川区尾久町四の一五五四大塚忠次郎方、大塚忠次郎
(41) 練馬支部　東京都練馬区南町三の六〇二一八木方、八木宏之
(42) 墨田支部　東京都墨田区隅田町二の三八九大西巌治方、大西巌治
(43) 新宿支部　東京都新宿区戸塚町三の八七四青山方、青山晃
(44) 文京支部　東京都文京区浅嘉町五清水方、清水幸重
(45) 東京都支部連合会　東京都文京区音羽七の十、柳沢定勝
(46) 関東学生部　東京都文京区音羽町七の十、添野元晴
(47) 本部　東京都文京区音羽町七の十

懸賞募集

友愛全国組織縦断リレーは十一月十五日から、北は北海道の北見市、南は九州の鹿児島市より出発して各支部をリレーしながら最後に本部へ到着します。この本部到着月日を左記により懸賞募集します。ふるって応募して下さい。

記

1、本部到着月日
北回り　〇月〇日
南回り　〇月〇日

2、応募資格
本会々員および本会関係者に限る

3、応募方法
一人一票、ハガキにて申し込む

4、応募締切
十二月十五日消印有効

5、審査
常任幹事会および全国組織委員会

6、懸賞
ピッタリ賞　金一万円（南北二名）
前後賞　金五千円（南北四名）
優秀賞　ビール一打・色紙
準優秀賞　色紙
残念賞　友愛ペナント

7、当選発表
昭和三十九年度第十一回全国大会及び本会機関紙々上

WAY青少年セミナー参加者公募

——変動する社会における青少年団体の役割——

開催要項

1、趣旨

社会の変動にともなって、私どもの青少年団体も青少年運動も新しい事態、新しい問題の挑戦にどのように対応してゆくかが今日の青少年指導者の問題である。これを共に学習するのがこのセミナーの目的である。

2、主催

中央青少年団体連絡協議会

3、会場

国立中央青年の家（静岡県御殿場市中畑）

4、期日

昭和三十八年十一月二十五日（月）～十一月二十九日（金）四泊五日

5、参加者

年令は二十～三十五歳でその組織団体で指導的立場にあって団体より推薦されたもの六十名。加盟団体各四名、その他の団体各一名

6、内容と講師

（1）先進国および後進国における青年の問題と青少年運動の課題　WAY派遣講師

（2）日本における青年の問題　国立教育研究所教室　矢口　新　氏

（3）青年団体の社会的役割　WAY派遣講師

（4）組織におけるリーダーシップ　日本基督教青年会同盟　総主事　池田　鮮　氏

（5）国際理解教育の問題点—国際活動の目標と展開　アジア文化財団　ジェームス・ココリス博士　日本ユネスコ国内委員会　事務局次長　赤石　清悦氏

（6）青年団における政治教育　文部省社会教育室　藤原　英夫　氏

分科会

（1）日本における青少年運動の課題＝地域別・年令別の班編成による分科討議

（2）a、リーダーの養成　b、青少年団体の社会的役割

（3）国際活動の目標と展開

（4）a、青少年団体における政治教育　b、組織における民主主義

7、経費

登録費　五〇〇円

8、申込手続

友愛青年同志会事務局まで十一月十五日必着のこと

9、携行品

筆記用具、日用品、運動ズボン、運動靴、ねまき、スリッパ

10、備考

参加者は十一月二十五日十二時三十分までに会場到着すること

レコード コンサート

関東学生部では新に発足したレコードコンサートを楽しむ会を十二月中旬におこなうことになりました。当日は学生部会員と一般会員の方との親睦をはかりたいと思いますので、御意見がありましたらお寄せ下さるようにお願いいたします。日時・場所は後日お知らせ致します。

□……□ バザーを開く
関東学生部で

関東学生部は歳末を間近にひかえ、例年おこなってきた扶け合い運動を実施するために、別記のように「スチューデンツバザー」を開催することになった。内容は学用品、日用雑貨、趣味の手芸品等を持ち寄り、公平な値段をつけて展示即売する。同時に会員の親睦をはかるために福引、ゲーム、スナック等を企画しているので、会員はもとより兄弟姉妹や御家族と一般篤志家の積極的な協力を望んでいる。

なお益金は毎年おこなわれる歳末扶け合い運動と各種施設の慰問する費用にあてる。

日時　昭和三十八年十二月一日（日）午前十一時より午後四時まで

場所　雑誌会館（国電お茶の水駅下車徒歩十分、明大裏文化学院前）

註　出品して頂けるものがありましたら事務局学生部までお問合せ下さい。

第二回友愛スキー講習会のお知らせ

場所・福島県猪苗代スキー場磐梯友愛山荘。期日・昭和三十九年一月三～五日（二泊三日車中一泊）会費・二三〇〇円（往復バス代、一泊六食含む）定員・四十名（先着順）申込先・本部友愛スキー講習会係宛十二月二十五日迄。なお、くわしくは（九四一）二八〇一、東京都連事務局迄。

カレルギー名誉会長講演録

友愛の世界革命

（最終回）

顧問 **鹿島守之助訳**

そうなるとロシアとしては唯一つのドイツをも、もはや恐れるにおよばないのであります。そうなると、ポーランド、その他ロシア皇帝に圧迫されていた国民に対して、民族自決権の自由を、自発的返にしてやったのはレーニンであったということを、ソ連の指導者たちが思い出すかも知れないのであります。かく考えると、衛星諸国の解放並びにドイツの東西合併への道は西欧と東欧との間の平和、並びにヨーロッパの和解を経て通じているといえるのであります。

しかしながら、太西洋から太平洋に至る間の、従来より大きなこのようなヨーロッパは、自己目的であると考えられてはならないのであって、換言すれば、国家を基礎としないで大陸を基礎とした帝国主義の伝統の再現であると考えてはならないのであって、むしろ世界平和に到達する途上において必要な段階と考えるべきであります。

東西両陣営のいずれにも属していないヨーロッパの諸国が先づ大ヨーロッパに参加するでしょうし、次でオーストラリア、ニュージーランド、並びにラテン・アメリカが参加するでしょう。みずから進んでヨーロッパ文化を取り入れ、しかもみずからの偉大な伝統を否定していない日本は、このような大きな同盟を太平洋において補足し、補強してくれるでしょう。アジアとアフリカの全民族も逐次参加し、更に、支那もロシアの手本に従って、戦争を世界革命の手段として排斥するようになると、その時は直ちに参加してくるでしょう。

このような発展と手を携えて、国際連合の改革が行なわれ、かくして生れかわった国際連合は、もはやヨーロッパを敵として戦うのではなくて、ヨーロッパと一緒になって世界平和の確立のために戦うでありましょう。

かく考えると、ヨーロッパの世界的使命の第一段階は平和会議の召集であって、第二段階はヨーロッパの和解であって、これを北アメリカと、北アジアによって補足することであり、第三段階は国際連合を改組して、真の意味の、かつ強力な平和機構とすることであります。

しかしながら、ヨーロッパが自分に課せられたこのような政治上の世界的使命を果し得るのは、ヨーロッパが新しい友愛の前衛闘士となった場合に限られているのであります。アメリカ式の自由の革命と、ソ連式の平等の革命を完成して、これらを友愛の世界革命を通じて補足し、和解せしめる時機が到来しているのであります。何となれば友愛が伴なわなかったならば、自由は無政府状態の混乱を招き、平等は暴政を招くからであります。イデオロギー、宗教、人種、党派並びに国民を相互から隔てている一切の柵を乗り越えて、人間は同胞を助けねばならない兄弟と見做すべきであります。

このような精神をもってこそ、若い世代の人々は原爆戦争をなくして、人類を新しい罪業から救うことができるのであります。

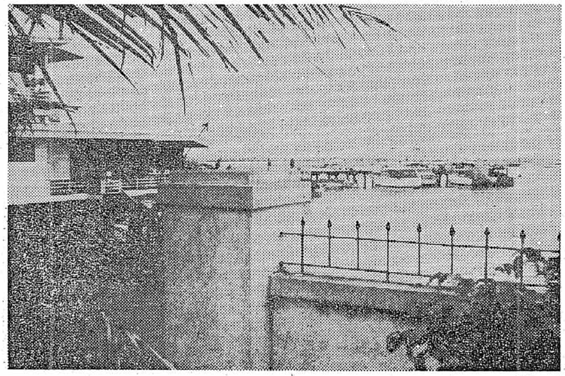
先年亡くなられた日本の鳩山首相は、キリスト教の伝統と仏教の伝統を併せた精神をもって、「友愛青年同志会」という一つの青年運動を起されましたが、この友愛青年同志会は創立十年後の今日では既に数十万人の若い日本の男女を擁しております。現在ではこの運動の先頭には首唱者の未亡人である鳩山夫人が立っておられます。

この運動が日本から出発したことは何らの偶然でもありません。原子爆弾の最初の犠牲となった日本は、ヨーロッパと同様に、アメリカとソ連の間に位置しております。更にまた、日本は西洋文化と東洋文化を併せて持っております友愛革命に対する極東からのこのような呼び掛けに対して、ヨーロッパの青年諸君は耳を傾けて頂きたく思うのであります。―そして、自由と平等と友愛の新しい世界の建設に協力して頂きたく思う次第であります。

「まだ時間はあるのだ。人間は働くべきだ。夜が近付いている。夜には誰も働けないのだ。」ということを最後に申しあげたいと思います。

【おわり】

去る十月三十一日午前九時三十分羽田空港よりヨーロッパに向って出発した友愛欧米国際使節団右から後藤・小野・栃内・森井の四君



【東洋一の美港、香港の港風景】

中国・台湾を訪ねて

旭川支部長 **林　勝**

～本会初の支部独自での海外派遣に成功した北海道旭川支部か～
～ら、去る十月三十日一週間の視察旅行を終って帰国した友愛中～
～国親善使節団団長林勝君の感想文が寄せられたので、ここに掲～
～載し、今後の発展と他支部の励みともなるよう希うものである～

世界は将来、国家を超越した一つの大きな連合体として大きく統一される。

その一段階として、東洋に若し連合体が結成されるとするならばそれは民族性、文化性、宗教的にいっても日本と中国である。

しかし、中国は今東西二つの両陣営に分割されている。私はこの度のささやかな視察旅行において沖縄、台湾、香港各地の青少年と多く接する機会を得たが、そこで何時も話題になったのは、日本の中共政策であった。

日本が自由主義国であって、これを国家存立の基本理念とするならば、政治的にも、経済的にも、如何なる理由においても私は中共とは接するべきではないと思う。

中共内部の自然的な自由主義革命によって、私達はやがて中国との連邦国家をつくりあげるような気運を盛りあげて行くべきであると思う。

このことは、香港において中共研究では世界一と言われる、友柳研究所の幹部と懇談した際にも一致した意見であった。

最後に、私達のこの視察について格別の御高配を戴いた、本部の奥田幹事長ならびに日本健青会の末次会長に心から御礼を申しあげて、ささやかな手記と致します。

◆編集局註
旭川支部友愛中国親善使節団団員
▽団長＝林勝（北海道連副幹事長旭川支部長）▽団員＝羽賀昭五（美瑛地区責任者）井田友三（旭川支部幹事）吉田三奈子（旭川支部副支部長）

意欲的な青年を農村に

東京教育大学助教授 **千葉弘見**

一、自立農家の育成

日本経済の高度成長ぶりは世界の注目の的となっている。敗戦当時の荒廃と混乱のさなかに誰が今日の隆昌を予想したであろうか。まさに驚異であり、奇蹟である。しかし決して無から有を生じたのではない。これはとりも直さず、日本民族の潜在的エネルギーと国民的努力の結集にほかならない。このような偉大な発展の具体的な原因は、それぞれの立場からいろいろ挙げられるであろうが、わたしは第一に日本人の優秀な頭脳と教育の普及、第二に豊かな食糧生産と健康な労働資源を強調したい。

戦後は世界各国とも工業政策に重点をおいたが、農業の不振な国々はせっかくの工業化も停頓の状態にあり、あるいは逆に国民経済を圧迫さえしている。中国、ソ連における農業の不振が政情の不安を招いていることは周知の事実である。

農業の健全な発達と工業の高度成長が相呼応し、両者が適正な均衡と調和を保つところに国力の充実と伸張があり、社会の秩序と民生の安定が確約される。今日の日本経済は大企業に重点がおかれ、農業や中小企業が等閑に附されている憾がある。このまま推積すると大企業と労農の二層に分離し、健全な中層階級を消失する危険がある。農業基本法はまさに画期的であり、農業近代化のよき指標ではあるが、社会構成、人間の幸福という見地から物心両面にわたる健全な自立農家の育成をめざさなければなるまい。

近年農村人口の流亡がはげしく農家全体が兼業化し、農業が日本経済の従属的存在になるのではないかと調制する向きもある。これまでのアジア的冲積農業と社会情勢のもとでは、農家は集約的生産労働に励むか、兼業以外に自衛の手段をもたなかった。農業の新なる飛躍は社会情勢の外部的変化に依存するところが大きい。この意味において、農業人口惹いては農家戸数の減少は農業近代化の有利な条件であることは確かである。

ある学者は近い将来において農家戸数は二百万戸に減少し、国有林の解放や干拓などによって、一戸当りの耕作面積は五町歩になるだろうと推算している。土地基盤を整備し、耕地を集約農場化することによって、日本の農業は面目を一新する可能性を十分にもっている。この点については北米や中南米の日系移住者が立派にこれを実証している。

農林省の構造改善事業は地理的に適応出来る地域（適応農村）と山間離島のように適応の困難な地域（拒否農村）とがあり、とくに後者については国有地の優先的払下げや国家的施設など社会保証的なきめの細かい政策が望まれる。なお離村離農者、兼業農家の生活の安定、身分の保証が農業の構造改善と密接不可分の関係にある。農業の近代化、自立農家の育成は基本法を主軸とし、農村社会の福祉と農村出身労働者の身分の確立とを両翼として推進され、始めてその成果が期待されるものと云えよう。

二、農村青年の動向

戦後しばらくの間、農村の青年は社会の封建性と貧困に堪えかねて、農業を嫌悪し、農政を批判し村や親と対立する者が多かった。それが二・三次産業の発展に伴ない熱病のように都市へ流動した。確かに農業は他産業に比較して苦労が多く、所得が少ない。これからの新しい農業を担当する優秀な人材の枯渇ということが農村の当面しているもっとも深刻な問題だ。

しかし昨今、農業近代化の機運が次第に熟し、心ある青年達は、農業の将来に明るい希望と自信を見出し、職業としての社会的意義を自覚し、「わが道をゆく」という頼母しい青年が自然発生的に全国各地に出現して来た。これは一方においては農村も次第に民主化され、正当な青年の要求が満されるようになって来たことや農村の後継者として青年は稀少的存在となったためでもあろう。また農村においても交通機関が発達し、文化施設が整い、都市的生活を営むことが出来るようになり、不安な都市における労働生活よりも農村の生活と農業の生産に人間として健康的な愛着を感じ始めたためでもあろう。いずれにしても優秀な青年が積極的に産業と取組もうという傾向は力強く、嬉しい現象だ。

全国各地の農家を訪ねてみて、経営を近代化している農家の中に父親が死亡した青年農家が意外に多いのに驚く。なお父親が民主的で、青年の意向が反映している農家の経営がもっとも合理的であることは当然であり、親が頑迷放縦で青年が無視されている農家が最低であることはいうまでもない。

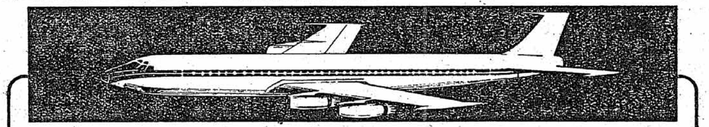
いま農村は専業農家グループと兼業農家グループに大きく分解しようとしている。新しい青年のタイプは勿論前者に多いが、後者にその人を得なければ兼務農家は農家として後退を余儀なくされるであろう。

三、農業青年の研究活動

過去において、青年が地域社会でもっとも高く評価された時代は村政とくに村の主体的事業に参画しその一翼を担ったときである。いま農村は構造改善事業で、右往左往の状態である。しかし多くの農村では青年はこの事業の計画に直接参画せず、また積極的に取組もうともしていないようである。それは一方では青年が甘やかされ他方では農業の経営と生産の技術に自信をもたないところにあるのではないか。不完全なものでよいから、青年自身でわが家の農業計画を立て、親とよく協議し、青年たちが相互にこれを持ち寄って、村の地域農業の青写真を作成し、村の構造改善事業に反映させ、推進者の一員としてその一翼を担うべきではないか。

青写真の実行にあたっては多くの問題点があげられよう。この問題点を村の課題として、共同で、あるいは分担して研修する。青年学級はこの問題解決の好適の場である。試験場や先進地を視察するだけでなく、村の代表として派遣し、新技術の導入を図るなど、計画に従って着実に効果を挙げて行くことが望まれる。地域農業の開発は青年の団結と能力の開発以外にはない。農業は生命の基幹であり、経済の支柱である。農業は有能な青年を決して裏切ることはしない。能力を開発することによって、土地や資本は自ら解決するものである。土地が狭いので兼業以外に道がないというのは早計であろう。これから世界水準の農業に伍して行くには優秀な技術と経営能力をもたないものは不適格である。農村を愛し、農業に誇りをもてる優秀な青年の研究活動に日本農業の明日が約束される。国も村もこれら青年の意欲的な奮起に応えるところがなくてはなるまい。

株式会社 高孝袋物
取締役社長 高橋　保
東京都中央区日本橋両国一
電話 (851) 五四七六



海外旅行のコンサルタント
海外旅行手続代理
ナショナル・ツーリスト
TEL 231―3206～9・3200
代表取締役 川部福太郎
吉岡富也
東京都千代田区神田司町2―7 福禄ビル

旭硝子株式会社
社長 森本貫一
東京都千代田区丸ノ内二の一六

地方だより

苫小牧支部の誕生
道連傘下十番目の支部

【苫小牧発】苫小牧支部結成準備委員会（委員長西内義雄君）ではかねてより支部結成の準備を進めていたが去る九月二十五日苫小牧市公民館において、会員四十名が参加して盛大におこなわれた。

当日は大会に先だち三浦吉治道連副会長（全国組織常任委員）が友愛の歌の指導をおこない、午後七時より大会にはいった。

司会の谷川勉君により開会されて、井上稔君の力強い会綱領朗読があり、結成準備委員長の西内義雄君の経過報告があった。続いて本部を代表して吉川祐市常任幹事、（道連幹事長）道連代表三浦吉治道連副会長（登別支部長）支部代表として若松誠樹室蘭支部長の挨拶があり、来賓代表として苫小牧青年会議所理事長野一雄氏の支部結成とともに会員激励の祝辞を受けた。

続いて議事に移り、議長団に後藤富夫君、遠藤由紀絵さんを選出して、支部規約および昭和三十八年度事業計画を審議し、役員の選出とともに次のように決定した。

◇活動方針 事業計画はひかえめにして、会員の倍加を中心に活動をすすめる。

◇事業計画 ❶ポピュラーレコードコンサートをおこなう❷養老院とマザース・ホーム慰問のための歳末扶け合い共同募金をおこなう❸会員の親睦を計るためのダンスパーティーをおこなう。

◇役員▽支部長＝西田義雄▽副支部長＝後藤富夫・工藤勝子▽事務局長＝井上稔▽事務局次長＝村上操▽総務部長＝中村光男▽副総務部長＝遠藤由紀絵▽総務委員＝桝川建一・田畑吉英・佐々期暁・榎本隆行・島稔・藤島房子・山田千沙子▽会計＝谷川勉・竹内貢・沢田郁子・池端富子・木島稔▽会計監査＝対馬孝一・入倉秀男・藤田徳義・沖田竜児▽事務局＝苫小牧市大町七十二番地 西内義雄（電話三四五七番）【写真は盛大におこなわれた苫小牧支部結成大会】

三笠支部が結成
北海道連さらに充実する

【三笠発】北海道三笠支部準備委員会（委員長竹林顕君）は、かねて道中央部における友愛運動の一翼をになって地区活動をつづけながら支部づくりに努力してきた。

この数ヵ月間の努力が実り、十一月十日（日）午前十一時より市内「労働会館」において三笠支部結成大会が行なわれた。結成大会には本部から奥田幹事長が出席したのをはじめ札幌、岩見沢など周辺支部からも代表がお祝いにかけつけた。

支部規約、事業計画、予算など審議の後、新役員を選出、午後は記念講演会があって二時半からは結成記念パーテーが盛大に挙行された。（詳報次号）

秋期研修会を開催
岐阜支部 楽しさを盛りこみ

【岐阜発】レコードコンサート・キャンプ・ピクニックと、相継いで活動してきた岐阜支部では、友愛精神の徹底と、青少年の生き方を探求するため、十月二十六日二十七日の両日、市内雄総の護国寺で研修会を開催した。

護国寺は、長良川畔から山手に入った静かな所にあり国宝の仏像が有名である。参加者は約三十数名、午後七時から副支部長の吉田満士嗣君の司会で始まった。鈴木昌和支部長の挨拶、県連会長の梶本英夫君の 岐阜支部を 讃える挨拶、本部の奥田吉郎幹事長の研修会の 意義を説く挨拶が 終ったのち、自己紹介に入り、給食の弁当を食べながら懇親を行なった。

講義の 最初は、奥田 幹事長で「青少年の生き方」について、自分自身についてよく考え、協力の精神で周囲に働きかけ、広い視野からものを見てゆく、それを実践しながらでてきた問題に取り組んでゆくことが大切ではなかろうかとの話しがあった。

終ってキャンドルサービスに移り支部会員が交互にゲームを紹介し満場笑いに埋れた。

翌日は六時に起床し、体操ならびに散歩を行い。腹の空いたところで食事に舌ずつみを打ち、終って友愛歌集を もとに合唱を 行った。午前の講義は、岐阜市長松尾吾策氏の代理として、教育長から岐阜市の青少年対策を中心としての話しがあり感銘を与えた。

分科会は青少年の生き方について四つの分科会に別れて、心ゆくまで討議を行った。

午後は、日仏交換でフランスに出かけてきた大洞竜明君の「ヨーロッパの印象」と題しての講義があり、参加者の気分をヨーロッパに案内した。そのあと、フォークダンスや屋外ゲームを行い反省会でしめくくって成果ある研修会を終了した。

総会で下半期事業を
墨田支部 レクリエーションを中心に

【墨田発】去る十月二十七日午後二時より都連所属の墨田支部（支部長君塚善之君）では墨田区民会館において会員約二十名を集めて支部総会を開いた。

これは上半期事業の報告反省と下半期事業の計画をたてるためのもので、活発な討議の結果、集会に参加しやすくするために楽しいレクリエーションを中心に次のように決定した。

1、コーラス会 毎週一回

2、フォークダンス会 毎月一回

3、友愛計理実務講習会 三十九年一月下旬から二月

4、友愛青年の集い ダンスパーティーを中心にチャリティバザー、ファッションショウを同時におこなう。日時十二月十五日午後五時

ダンスパーティーのためにダンス講習会をおこなう。十一月二十二日・三十日

地方常幹ハイライト

友愛山荘を育てる
長野県 早川忠光君

高原の秋は暮れるのが早く、軽井沢の友愛山荘もようやく忙がしさから解放された。山荘管理者の早川忠光君は名実ともにここの主である。

毎年延べ六千人以上の若い青年がこの山荘に泊り、規律のきびしい中にも行届いた親切、心暖まる夕べの集会にふれて、幾多の想出を残して帰る人々は跡をたたない。おびただしい礼状と、いくつかの雑誌に紹介された記事をみると、彼の 指導ぶりは 定評がある。この山荘が彼の運営によって友愛精神のとりでとなり、青年少のセンターとなり、わが国における代表的なユースホステルとしての評価をあびているのである。彼は日本における代表的なペアレントとして名をあげている。

最近、友愛山荘と彼におきた二つのできごとをあげると、その一つは、八月二十日NHKテレビの“ここにも歌がある”によって、彼のキャンプファイヤーの指導が全国に放送された。もう一つは、地元軽井沢の婦人会の合唱を指導し、佐久地方の婦人合唱コンクールで見事二位にしあげたことである。前年最下位であったのを、山荘の片手間に持導して育てたもので、今や彼は軽井沢における名士の一人である。

さて、ここまで彼が到達するのにやはり十年の歴史がかけられている。本会が結成された昭和二十八年に当時日大の三年であった彼は、先輩に尻をたたかれて結成のポスター張りなどを手伝った。したがって学生部で活躍した古参会員である。財団事務局長の高野君とは、中学・高校・大学・友愛と常に一緒の仲である。

合唱で名声をはくしていた横浜木曜会と日大合唱団に席をおいていたので、早速友愛に合唱団をつくりYMCAを練習場として、若い彼が指導にあたった日本フィルの指揮者である渡辺暁雄先生に時折指導を仰ぎ、全国大会では颯爽と登場した。音痴の多い本部役員はメンバーに入れて貰えず口惜しまぎれに音羽ぐずかご会を結成したのもこの時である。クリスマスには鳩山邸で大曲ハレルヤコーラスを指揮したことも語り草である。

友愛山荘が始めて開設されたのは二十九年の夏であった。南ヶ丘の百姓家を借り、彼が腰に手ぬぐいをふらさげて当番をした。足の不自由な鳩山先生が、自動車が入らないので畑の中を歩いてきた。

山荘が浅間がくしに移り、また現在の地に建設されても、引き続いて山荘の管理にあたった亡き鳩山先生には、接する機会が多く、非常に可愛がられてゴルフ道具一式を記念に貰っている。

三十五年にフランスのニースで開かれたユースホステルの世界会議とユースラリーに参加した

ともかく山荘と共に歩み、山荘と共に生きてきた友愛マンである。彼の巾広い生活が今後どのように展開されるか期待される。

関西学生部の例会と読書会

【箕面発】関西学生部では去る九月の下旬に、高校生の集会をおこない、箕面支部（支部長井上都司子さん）でおこなった母子寮慰問を機会に、自分達の手で作成した手芸品（座布団・カバン・ブックカバー・ハンケチ入れ・人形の服など）数十点を母子寮の子供達一人一人に寄贈した。

十月の例会は、十月十三日午前九時三十分参加者二十名が集合して、箕面山での飯盒炊爨をおこなった。日曜日のために観光客でにぎわっていたが、道をそれた人気のない静かな清水の涌く場所を探しあて、食事の仕度を楽しみながら自分達の手で作った料理と果実のおやつをどっさり食べて、元気に歌を唄い、ゲームをして楽しんだ。紅葉には少し早かったが、山は秋のにおいでいっぱいだった。学校が始まってから久しぶりのピクニックで一層楽しさを加え、愉快な一日を過した。

十月十二日は午後二時より玉川伸也君宅において、漱石の「こころ」の読書会をおこない、考えていることを話し合い、大変意義深く終ることができた。なお次の読書会は十一月九日午後二時よりジイドの「狭き門」についておこなうことになった。（結城事務局次長報告）

一日を老人と楽しく
熊谷支部の養老院慰問

【熊谷発】熊谷支部（根岸寛治支部長）は十月六日午後一時より、熊谷市長、市議会議長ら来賓をも迎えて根岸君の「東南ア帰国報告会」をひらき、会員多数が出席した。

さらに十月二十七日（日）はに熊谷市内の養老院「長楽園」を訪問。老人方と一つの輪になって、ダンス、コーラス、おどりに興じ楽しい一日をおくった。

特に若い人のグループでの慰問は少ないとのことで非常に喜ばれた。

海外交流も活発に

【旭川発】旭川支部では十月十五日午後六時半より北海ホテルで海外派遣者の合同歓送会をひらいた。

当日、歓送されたのは「友愛中国親善 使節団」（団長 林勝支部長）一行四名、久保祥子さん（労働省派遣スイス留学生）、藤田博子さん（友愛沖縄訪問使節団）の三方面、計六名で本年度最高の国際派遣行事となった。なお一行はそれぞれ東京の本部を訪問、訪中使節団は無事訪問を終えて十月二十九日帰国した。

臨時総会を開く

【札幌発】去る十月二日北海道連札幌支部（支部長兎沢邦彦君）は臨時総会を開き、下半期事業を討議し、支部の拡充と発展を中心に活動を進めるよう基本方針を決め、また、次のように新役員を決定した。

支部長 兎沢邦彦
副支部長 五十嵐宏
事務局長 佐藤勲
会計部長 江端紀子

切紙入選作
海外へ交換に

【宇部発】山口県宇部支部は去る七月、第二回「国際親善友愛切紙画大会」を催し、多数の出品中から入選した二十点を市内の福岡銀行で展示して市民の好評を得てきた。

今回、この入選作はオーストリアおよび沖縄の友好団体に交換のため送られることになり、「友愛欧米国際使節団」および「沖縄訪問友愛使節団」に託された。

キューバ問題を研究

関東学生部（委員長 添野 元晴君）は十月十三日午後三時より会長邸離れにおいて、宇都宮徳馬代議士を講師に招き、キューバ問題講演会を開いた。先日キューバを訪問、現地の実状をつぶさに視てこられた先生は、日本とキューバの関係、キューバの政治、経済、教育、又キューバの青少年等について、約二時間にわたる講演をおこなった。会場には、奥田幹事長尾形常任幹事も出席し五十余名の学生部会員とともに熱心に聞き入っていた。

この種の催しは度々開かれてきたが、その都度好評を得ているのでこれからも続けておこなう予定である。

消息

◇広島支部の松井和麿君（全国組織常任委員）は、前川美恵子さん（広島市水道局勤務）と十一月三日、広島市平和記念館で結婚式をあげた。当日は友人達が世話人となって祝賀パーテーを開き盛大に二人の新しい門出を祝った。

◇旭川支部の久保祥子さん（旭川赤十字病院）は、スイスのベルン市立総合病院に留学派遣されることになり、十月二十六日羽田空港から元気に出発した。

◇岡崎支部の早川淳君は先般の司法試験に合格、来春から司法研修所へ入るため上京するので、四月まで支部の基礎づくりに邁進するとのこと。

◇岐阜支部長鈴木昌和君は去る十一日、本部に来訪、キャンプ、レコードコンサート、研修会など岐阜文部が行なった行事の詳細報告をし、奥田幹事長、北川事務局長尾形組織委員長らと懇談した。

◇箕面支部池永正一君は十一月九日市内八幡宮、市立青少年センターで挙式、新生活形式の披露祝賀パーテーを有志で主催し、門出をお祝した。

◇箕面支部寺川良夫君（全国組織常任委員）の結婚式は十二月五日大阪市灘波、府立体育館東隣「高砂殿」で行なわれる。

◇伸びる若い芝の会は八組みの新婚さんを生んだが、十一月三日都内和泉橋で合同祝賀会をひらき、多勢の仲間で前途を祝福した。

中央日誌

10/11 君塚善之墨田支部長アメリカに出発（羽田）
オリンピック前年祭関係参加団体打合せ会（午後一時半於三和銀行三階）
12 東南アジア研究会（午後六時半於本部会議室）
13 関東学生部例会宇都宮徳馬氏講演会（午後四時於会長邸はなれ）
14 世界連邦日本青年協議会（午後六時於参院別館）
15 国際委員会地方座談会打合せ会（正午於国際委）
選挙法改正テキスト委員会
18 第六回常任幹事会（午後六時半於本部会議室）
世界青少年キャンプ小委員会（午後二時総理府）
19 友愛婦人会友愛バザー（午前十時於桜蔭会館）
東南アジア研究会（午後六時半於本部会議室）
東南アジア青年指導者歓送パーティー（午後六時於私学会館）
20 第十四回全国幹事会
友愛婦人会友愛バザー（午前十時於桜蔭会館）
21 友愛中国親善使節団歓送会（正午会長邸はなれ）
世界連邦第三回大会準備委員会（午後五時参院）
友愛中国親善使節団出発
世界青少年キャンプ特別委員会（午後二時於総理府六一九号室）
22 執行部会議（午後三時於本部会議室）
世界青少年キャンプ青少年団体委員会（午後一時於総理府六一九号室）
23 国際委員会常任理事会（午後五時半於たまち）
24 国連デー
東京都主催都政懇談会、（午後二時日本青年館）
核禁宗教者平和使節団帰国（羽田午後四時半）
26 岐阜支部研修会
全国氏子青年協議会結成大会（午前九時於明治神宮参集殿）
日本青年奉仕隊打合せ会（午前十時於参院）
選挙法改正運動協議会（正午於婦選会館）
東南アジア研究会（午後六時半於本部会議室）
川崎秀二副会長激励会（午後六時於町村会館）
27 都連お茶の会（午前十時於会長邸はなれ）
墨田支部総会（午後二時於墨田区民会館）
29 岐阜支部研修会
友愛中国親善使節団帰国
30 関東学生部役員会（午後五時於本部会議室）
核禁事務局会議（午前十一時半於核禁本部）
31 友愛欧米国際使節団出発（羽田発午前九時三十分）
訪日ベルリン青年代表歓迎会（午後六時青年館）
11/1 都連お茶の会（午後六時於会長邸はなれ）
オリンピック中央前年祭（午後三時国立競技場）
2 国民協会東京学生部結成大会（午後二時日本都市センター）
3 関東学生部バザー打合会
松井和麿君結婚式（午後五時於広島平和記念館）
若芝合同結婚披露パーティー（午後一時和泉橋）
5 友愛婦人会バザー報告会
6 友愛婦人友の会和裁のつどい（午前十時於会長邸はなれ）
7 早朝墓参会（午前六時半於谷中墓地）
9 亀山誠君ヨーロッパ帰国報告会（正午青年館）
池永正一君結婚式（午後二時半於箕面青少年センター）
10 三笠支部結成大会（午前十一時於市労働会館）
関東学生部例会（午後一時於会長邸はなれ）